

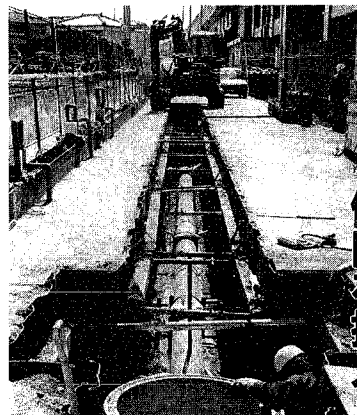
人口 480,804人 (-2689)
 男 233,082人 (-1638)
 女 247,722人 (-1051)
 世帯数 172,567 (-1135)
 住民基本台帳による。()は前月比

にいがた



平成 7年
5月7日
 第1471号
 下水道特集

発行日 毎週日曜日 発行新潟市 〒951 編集 総務部広報課
 学校町通1-602-1 印刷 鶴第一印刷所



230億円を投入

7年度は下水道整備に

市では、平成3年度から第7次下水道整備5カ年計画をスタートし、下水道人口普及率年平均3%アップを目標に整備を進めています。計画の最終年度である平成7年度末には、約22万3千人の市民が下水道を利用できるようになります。本年度は同計画達成のため、公共下水道建設事業に前年度当初比約15%増の約230億円を投入します。

また、平成7年度には、関屋分水路以西(寺尾前通、小針など)や鳥屋野(綱川原・女池など)、石山(石山・江南など)など約326haが処理開始区域になり、本年度末見込みで下水道普及率は46.4%になります。

また、雨水排除改善も積極的に推進し、東堀幹線、松島幹線の築造や白山公園ポンプ場、松島ポンプ場などを引き続き整備していきます。

洗浄には処理場の水を利用
 洗浄には大量の水が必要となりますが、これには下水処理場の処理水を利用し、土砂を洗浄した後の汚れた

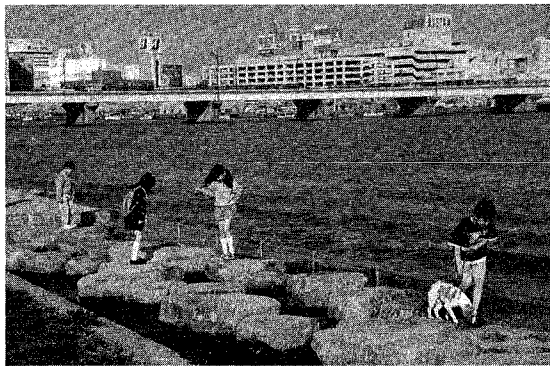
2面に下水道処理開始予定
 区域図を掲載しています

市役所・市教育委員会
 ☎228-1000 (代表)

野球場 テニスコートの申し込み...266-8111
 園芸センター...286-1034
 道局...266-9311
 東保健所...243-5311
 石山地区保健センター...286-4450
 鳥屋野地区保健センター...286-2373
 北地区保健センター...259-7332
 西保健所...266-5171
 西地区保健センター...262-3405
 坂井輪地区保健センター...260-3255
 (急患診療(市医師会・県歯科医師会))
 急患診療センター...228-2822
 休日歯科診療センター...283-3030

下水道

第8次5カ年計画まとまる 12年度末に30万人が利用



下水道は自然環境を守り、快適なまちづくりを進めるに欠かせない都市基盤の一つです。このほど下水道整備の基となる、平成8年度を初年度とする第8次下水道整備5カ年計画(案)の概要がまとまりました。同計画では、平成12年度末には市民の約30万人が利用できるよう下水道整備を図るとともに、大雨による浸水を防ぐ雨水対策にも積極的に取り組む内容となっています。

同計画は、第七次五年計画(平成三年度から本年度まで)の実績を基に、下水道の利用人口や処理区域など五年間の整備目標をまとめたものです。

具体的には期間中の五年間で、下水道の人口普及率約十五パーセント増を目標としています。地区では、新たに松浜地区(北部処理区)、内野山地区(西部処理区)、物見山地区(中部処理区)、姥見山地区(東部処理区)など

下水道整備計画	処理区域累計	処理人口累計
7次5カ年計画(平成3~7年度)	2,990ha	223,000人
8次5カ年計画(平成8~12年度)	4,000ha	300,000人
増加	1,010ha	77,000人

そのほか、近年注目されている環境面では、環境に優しい下水道として、汚泥の減量化を図る施設の建設を進める一方、雨を地面にかえす雨水浸透などについても積極的に検討を進めます。

水は生命の源です。もし、私たちの周りが水がなくなるとしたら、人も魚も草花も生きていくことはできません。しかし、水の都に住む私たちは、その豊か自然から受けた恩恵を忘

れ、すべてを水に流すかのようにさまたげまわりの川や海に捨ててきたのでは、その水の環境は今や危うくなっているのでは、市内の河川や湖沼海などで行っている測定では、おおむね環境基準を下回っているもの、中には基準すれすれの所も見られます。とりわけ鳥屋野の汚れが目立ち、その原因のひとつが生活排水によるもの。一人が流す生活排水はほんのわずかしれませんが、ちよつとした心掛けが大切な水を守る力を握っているのではないか。

西地区市政懇談会
 日時 5月12日午後1時から
 会場 西地区公民館 対象 西地区在住の人
 市側出席者 市長、局長、ほか
 問い合わせ 市民相談室 ☎2062番へ

鳥屋野鴻一斉清掃
 日時 5月14日午前9時半~10時半(雨天中止)
 集合場所 割烹の宿「湖畔」前広場
 用具 ごみ袋、軍手、ごみばさみなどは市で用意します。長靴、ゴム手袋などのある人はお持ちください。
 問い合わせ 清掃課 ☎226-2754へ

果樹講座
 日時 5月9日午後1時半~3時半
 会場 園芸センター
 内容 春先の果樹管理
 定員 先着50人
 申し込み 電話で会場へ

じゅんさい池公園 植物観察会
 日時 5月16日午後1時半~3時半
 集合場所 じゅんさい池公園駐車場わき
 定員 先着50人
 申し込み 植物資料室 ☎228-0698へ

今年三月、中部下水処理場内に、総事業費七億円を投じた洗砂施設が完成しました。

洗砂施設が完成

下水道管などには大量の土砂がたまりますが、これまでは産業廃棄物として処理されてきました。同施設は、こうした土砂を繰り返し洗浄することで、土砂に混じっているごみやにおい、有機成分などを取り除き、有効利用できる砂をつくりだそうと建設されたものです。これにより一日最大で四トトラック約五台分の砂が作りだせます。

洗浄後の砂は下水道工事の埋め戻しなど、建設資材として活用する予定です。

洗浄には処理場の水を利用
 洗浄には大量の水が必要となりますが、これには下水処理場の処理水を利用し、土砂を洗浄した後の汚れた



中部下水処理場内に完成した洗砂施設

“水は生命の源”

の巻

水は生命の源です。もし、私たちの周りが水がなくなるとしたら、人も魚も草花も生きていくことはできません。しかし、水の都に住む私たちは、その豊か自然から受けた恩恵を忘

れ、すべてを水に流すかのようにさまたげまわりの川や海に捨ててきたのでは、その水の環境は今や危うくなっているのでは、市内の河川や湖沼海などで行っている測定では、おおむね環境基準を下回っているもの、中には基準すれすれの所も見られます。とりわけ鳥屋野の汚れが目立ち、その原因のひとつが生活排水によるもの。一人が流す生活排水はほんのわずかしれませんが、ちよつとした心掛けが大切な水を守る力を握っているのではないか。

かんきょう コラム (12)

白とびした心掛けが大切な水を守るのが

電話案内